

平成 27 年度 第 3 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 27 年 8 月 6 日（木）18 時～19 時 30 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）濱口企画財政課副参事（志摩市）中野企画政策課長（度会町）中井政策調整室長（南伊勢町）西村行政経営課長（明和町）防災企画課 霜 氏（三重銀総研）別府副調査部長（大学）齋藤教授、櫻井教授、筒井教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、橋本企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

【議 題】

1. 第 1 回シンポジウム(9 月)の準備状況について

(1) 進行概要

齋藤教授より添付資料に基づき、シンポジウム進行概要及びチラシ内容の説明がなされた。

板井准教授より添付資料に基づき、シンポジウム会場のレイアウト説明がなされた。

筒井教授より登壇者として皇學館大学学生 1 名確定、もう 1 名は志摩市企画政策課でインターンシップを行っている学生で現在調整中との報告がなされた。

- 三重大学からの登壇者 2 名については既に確定
- 子連れ参加の場合についての質問があり、対応については検討したいとの回答がなされた。

(2) パネル交流会

齋藤教授よりパネル交流会についての説明がなされた。

- 学内での取組、CLL 活動として市町の方々と協働して取組んでいる内容など、現時点で 12 ブースほどを予定。
- ブース出展いただける団体をご紹介いただけるようであれば、地域課題学修支援室へ連絡をお願い致したい。
- パネル説明者について
→シンポジウム時間中は配置なし。パネル交流会時間中（16～17 時）は人員の配置をお願い致したい。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 平成 28 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの改善点について

齋藤教授より教育プログラムの改善点についての説明がなされた。

- 科目 I についてはレポート提出中（8/7 締切）。提出されたレポートは今後各市町へ送付予定。

<日程について>

- 平成 27 年度はご都合の合う日程で授業を行っていただいたため、授業全体としてのまとめができない日程割となってしまった。来年度は学年暦に応じた日程をお示し、日程調査を先ず実施致したい。

<授業内容について>

- 今後は、より教員側からの働きかけをさせていただく形で授業を進めてゆきたいと考えている。
- どのようなことを学ぶかというテーマを決め、担当の教員と市町で事前に話をし、もう少し深掘りの方が良いのではないかと考えている。
- 概要を知ることが大事であるが、市町の特徴、注力している点ができるだけ学生に伝わるようにするのがよいのではないかと。
- 圏域や三重県人口データなど市町で重複する基礎的部分はガイダンスや最初の1、2回目の授業でまとめて学生に提示し、それを前提として市町が特色を持って取組まれている事業や資源について説明いただく方がより効果的ではないかと考える。
- 学生との双方向の授業形態をとることにより、緊張感を持って授業に臨め、また主体的に学ぶ姿勢を身につけることができると考える。この点についても改善を図ってゆきたい。

<「伊勢志摩共生学」(1年次配当)について>

- 現在、「伊勢学」では伊勢市長に年1回講義に来ていただいているが、来年度は「伊勢志摩共生学」として新たに組み立て直す予定。今後、ご相談させていただきたい。

審議の結果、異議なく了承された。

3. 平成 28 年度開講「伊勢志摩共生学実習 I ~ IV」の教育内容と実習(地域インターンシップ)受入自治体、NPO 等外郭団体の検討について

齋藤教授より概要説明がなされた。

- 夏季休暇中に3泊4日程度で実施。
- 大学からいくつかの実施モデルを提示し、それに応じた活動場所を市町からご提案いただくことと致したい。
- 既に取組まれているプログラムの紹介

① 玉城町

- ： 東京大学との取組。10日間のプログラム(最終日30分程度発表会)
- ： 町立病院、保育所、高齢者サロンでの活動、企業訪問等を通じて現場に触れ、自治体としての役割を知る。
- ： 本年度2名参加(過去2回実施。3名参加)

② 鳥羽市

- ： 県南部地域活性化局 集落支援モデル事業。四日市大学との取組で今年度2年目
- ： 中心市街地空き家対策をテーマに地域の方々と共に考える1泊2日のプログラム
- ： グループワーク発表

③ 志摩市

- ： 渡鹿島での活動

④ 南伊勢町

- ： 本年度3年目
- ： 町のコミュニティセンター宿泊(1泊2日)

⑤ 岐阜県中津川市（旧加子母村）

：今年で20年目。現在は学生主体となって運営している取組

：夏季休暇中の1ヶ月間。公民館等を利用

- ・地域インターンシップで完結ではなく、プロジェクト研究へつなげていく足がかりとなるようなプログラムにしたいと考えている。継続できるプログラムを目指し、まずは4活動を目標に今後、個別にご相談させていただきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

4. 圏域内アンケート改定案について

筒井教授より配布資料に基づき、圏域内アンケートの改定案について説明および依頼事項がなされた。

（アンケート変更点）

- ・調査対象を次世代（大学4年生、高校3年生、中学3年生）とする。
- ・今年度はパイロット調査（皇學館中、高、大生対象）とし、H28年度から大規模な全数調査を実施。

（依頼事項）

- ① 調査票作成段階において、素案についてご検討、追加項目等をご提案いただきたい。
- ② 来年度以降、中学生の調査については市町教育委員会のご協力がいただけるかご検討いただきたい。（⇔ 高校については県教育委員会へ大学から打診の予定）
アンケートは最大50問ほどの設問を予定しており、ショートホームルーム時間内にできる分量ではないと考えられる為、別途アンケート実施の時間をとっていただけるのか教育委員会とご調整いただけるとありがたい。
- ③ 若者対象の調査を実施されていることがあれば、どのような調査をされたか情報提供をお願い致したい。（→課題学修支援室へ）

鳥羽市…中、高校生対象アンケート

伊勢市…大学生対象アンケート

志摩市…高校生対象アンケート

度会町…度会中学全校生徒、高校生の年代を対象としたアンケート

審議の結果、異議なく了解された。

5. その他

学修成果評価アンケート結果

- ・受講生の学部間の割合
- ・問11について

7割が他の科目も受講してみたいという回答。各市町の講義が興味関心を高められる授業であったためと考える。

・問12について

将来地元の教員、自治体職員やその他職業人等として生かしたいという回答が5割超。地域で活躍できるアクティブシチズンの育成に少しでも寄与できたと考えている。

懇親会について

次回運営会議（9/10）後に予定。詳細は追って連絡。

志摩市より地方創生シンポジウム開催案内

8月24日（月）19時～。近日案内資料を各市町担当課、大学等へ送付予定。

審議の結果、異議なく了解された。

***次回日程**

次回（H27年度 第4回）運営会議は、

平成27年9月10日（木）18時～ 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催されることを確認された。

以上